

カバー・マット交換手順



注意

カバー・マットを交換する際には必ず電源を切り、スチームを止めて機械が完全に冷めたことを確認の上、作業を行ってください。

冷め切らないまま作業を行いますと、火傷をする恐れがあります。



注意

脇部分にはカバーを張るスプリングフックが付いています。フックを引っ張る際はフックを直接手で持たず、必ずリングに指を掛けて引っ張ってください。

怪我をしないよう充分注意をして作業を行ってください。

はじめに

カバー・マット類の全てを装着する場合の手順を説明しています。取外す場合は取付けの手順を逆にして行ってください。

また、一部のカバー・マット類を交換する場合は、対象の交換手順を参照してください。

注意

カバー交換の後は、必ずカバーカウンターをリセットして“0”にしてください。

カバーカウンターのリセット手順については、21 ページを参考に行ってください。

●カバー・マット類一覧



ボディーカバー(後下カバー付き)



ステンレス棒 2 本
※(再利用)



後ろ押えカバー



後ろ身保護カバー(左右共通)



ボディーネル 8mm



ボディーSH シリコン 10mm



ネック押えカバー



ネック押えオレンジシリコン



タックカバー
(左右別々)



タックネル 5mm
(左右共通)



タックHシリコン 6mm
(左右共通)



カフス押えカバー
(左上/右下共通)(右上/左下共通)

1. ボディーカバーを取外す際の要点

- 1-1
- ・ボディーカバー前身脇に引っ掛けてある、カバー張りスプリングフックのリングに指を引っ掛け、手前に引いてフックをボディーカバーから外します。(図 1-1-1)
 - ・カバー張りスプリングフックのリングに指を引っ掛けのまま、ボディーカバー前身脇を開き、機械本体のボディーにフックを引っ掛けておきます。そうしておく、カバー張りスプリングフックの落下を防ぎます。(図 1-1-2)
- ※カバー張りスプリングフックを引っ掛ける場所は、前身の上側左右と前身の下側左右、計 4 箇所あります。



図 1-1-1



図 1-1-2

- 1-2
- ・機械本体からダクトホースを外した後に、ボディーカバーを外してください。(図 1-2-1)

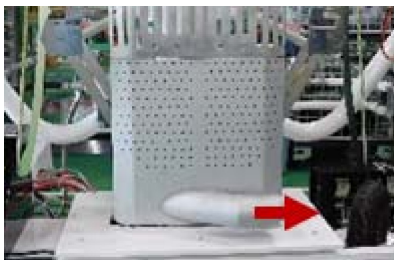


図 1-2-1

- 1-3
- ・ボディーカバーを取外したら、前身脇に入っているステンレス棒を肩紐の出口から抜き取ります。左右 2 本共抜き取ってください。(図 1-3-1)
 - ・抜き取ったステンレス棒を新しいボディーカバーに差し込みます。(図 1-3-2)
 - ・ステンレス棒は裾の方にあるミシン止めまで入れてください。(図 1-3-3)



図 1-3-1



図 1-3-2

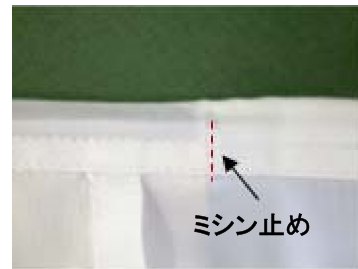


図 1-3-3

- 1-4
- ・新しいボディーカバーの後身裾に付いている両脇のマジックテープを外します。(図 1-4-1)
 - ・次に両脇のファスナーを外してください。(図 1-4-2)
 - ・後下カバーを取外しておきます。(図 1-4-3)



図 1-4-1



図 1-4-2



図 1-4-3

2. 機械本体から後押えユニットを取外す

- 2-1
- ・エアークックを閉めてください。(図 2-1-1)
 - ・次にレギュレータのバルブを開けます。(図 2-1-2)
 - ・エアの圧力が 0.6Mpa から 0Mpa になった事を確認してください。(図 2-1-3)



図 2-1-1



図 2-1-2



図 2-1-3

- 2-2
- ・後押えユニット裏側にある、「黒色」「赤色」の 2 本のエアチューブをスピードコントローラーから外します。(図 2-2-1)
 - ・スピードコントローラーの先端を押し込みながらエアチューブを引っ張ると外れます。(図 2-2-2)

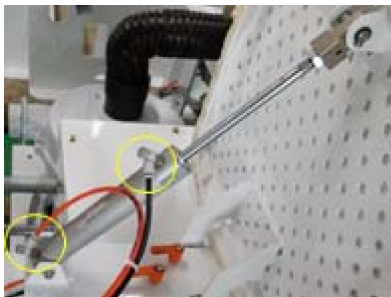


図 2-2-1

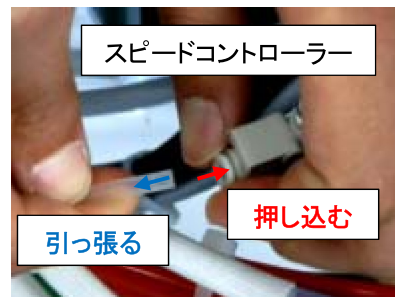


図 2-2-2

- 2-3
- ・後押えユニットはレバー付きのネジ 2 個で固定されています。レバーを回してネジを外してください。(図 2-3-1~2)

※レバーがあたる場合はレバーを持ち上げて角度を変えてください。[①上方向にレバーを引く。②レバーの角度を変える。]の手順で調整します。(図 2-3-3)



図 2-3-1



図 2-3-2



図 2-3-3

- 2-4
- ・後押えユニットを上方向に持ち上げます。(図 2-4-1)
 - ・械本機体からゆっくり後押えユニットを取外してください。(図 2-4-2)



図 2-4-1

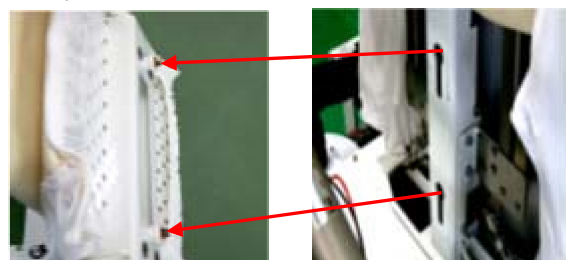


図 2-4-2

3. 後押えユニットに後下カバー 後押えカバーを装着する

- 3-1
- ・後下カバー右下にあるL字形のマジックテープを外します。(図 3-1-1)
 - ・カバーを後押えユニットのボディー側(後裾受け部)にネルが上下左右均等になるように当てます。※マジックテープを外した方が下側です。(図 3-1-2)
 - ・紐を引っ張り、後裾受け部の四隅を包み込んで紐を縛ります。結び目は内側に納めてください。(図 3-1-3)
 - ・カバーに張りをだす為に裏側上部の中の紐を引き下げて、フック2箇所につっ掛けてください。(図 3-1-4)
 - ・はじめにマジックテープを外した下側の布を後押えユニットのベースの下にまたがせて、L字形のマジックテープを貼り合わせます。(図 3-1-5)



図 3-1-1



図 3-1-2



図 3-1-3



図 3-1-4



図 3-1-5

- 3-2
- ・後押えカバーのネルを表側の生地(裏側)の角に馴染ませておきます。(図 3-2-1)
 - ・カバーを後押えユニットの押え側に上下左右均等になるようにあてます。※紐の出口が上側です。(図 3-2-2)
 - ・紐を引っ張り、後押え部の四隅を包み込んで紐を縛ります。結び目は内側に納めてください。(図 3-2-3)
 - ・カバーに張りをだす為に裏側上部の中の紐を引き下げて、フック2箇所につっ掛けてください。(図 3-2-4)



図 3-2-1



図 3-2-2



図 3-2-3



図 3-2-4

- 3-3
- ・後押えユニットを機械本体に取付ける。
 - ・「2. 機械本体から後押えユニットを外す」を参考にして、後押えユニット裏側の突起部を機械本体の穴に合わせ、後押えユニットをはめ込みます。
 - ・レバーの付いた2個のネジで後押えユニットを固定します。(※ネジ穴が合わなくなならないように、ネジは交互に締め付けてください。)
 - ・「黒色」「赤色」の2本のエアチューブをスピードコントローラーに挿し込みます。※上側は黒、下側は赤
 - ・レギュレータのバルブを閉め、エアコックをゆっくり開け、エアの圧力が0Mpaから0.6Mpaになった事を確認してください。

4. ボディーシロン ボディーネル 後身保護カバーを装着する

- 4-1 ・ボディーSHシリコンを機械本体ボディーに装着します。※ボディーSHシリコンのネックホール、肩幅、身幅が機械本体ボディーに対して、左右対称になるようにしてください。(図 4-1-1)



図 4-1-1

- 4-2 ・ボディーネル 8mm を装着します。ボディーSHシリコン同様、機械本体ボディーに対して、左右対称になるようにしてください。(図 4-2-1)
※ボディーネルは機械本体ボディーより身幅、後身丈がはみだします。(図 4-2-2~3)



図 4-2-1



図 4-2-2



図 4-2-3

- 4-3 ・機械本体後身側にある、カバーブレードの左右先端に後身保護カバーを被せます。(図 4-3-1)
※後身保護カバーの中の縫い代が、カバーブレードの裏側にくるようにしてください。(図 4-3-2)



図 4-3-1



図 4-3-2

5. ボディーカバーを装着する

- 5-1
- ・ボディーカバーを機械本体ボディーに被せます。※ボディーカバーは 1-3 項のように、前身脇にステンレス棒が差し込んである状態です。(図 5-1-1)
 - ・脇張り機構部の左右上側にカバーを被せます。※下側はまだ被せないでください。(図 5-1-2)
 - ・ボディーカバー前身下側にバキュームダクト部を通す開きがあります。開きのマジックテープをはずすと布が 2枚に分かれるので、右側の布を奥によけてバキュームダクトを通します。次に左側の布をカバー本体のマジックテープにとめてください。(図 5-1-3~4)
 - ・ボディーカバー、ボディーネル 8mm、ボディーSH シリコンが機械本体ボディーに対して左右対称に装着されているか、ネックホール、肩線、ボディーを見直し、整えてください。(図 5-1-5)



図 5-1-1



図 5-1-2



図 5-1-3



図 5-1-4



図 5-1-5

- 5-2
- ・ボディーカバー前身裾端の裏側に付いている紐の通ったポケットを機械本体ボディー前身の下端に被せます。(図 5-2-1)
 - ・肩から出ている前身側の紐を上につ張りあげて、ボディーカバーと機械本体ボディーとを固定してください。※肩の紐はまだ結ばないでください。(図 5-2-2~3)
 - ・ボディーカバー後身裾端を機械本体後身にあるカバーブレードの先端に被せ、肩から出ている後身側の紐を上につ張りあげて、ボディーカバーと機械本体ボディーとを固定してください。(図 5-2-4)



図 5-2-1



図 5-2-2



図 5-2-3

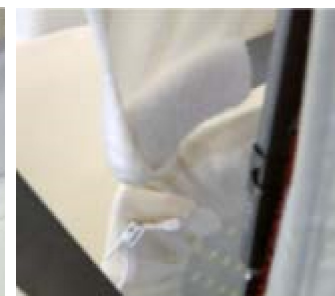


図 5-2-4

- ・ボディーカバー後身・前身の裾が機械本体にきちんと引っ掛かっているのを確認して、前後の肩紐を引っ張り、蝶結びをして仮にとめておきます。(図 5-2-5~6)



図 5-2-5



図 5-2-6

- 5-3 ・ボディーカバーのネックホール、肩線、紐を引っ張った肩紐周り、カバー全体のバランスが左右対称になっているか確認し、ボディーカバーのシワを、裾の一番下の方を引っ張ってなくしてください。前身は引っ張って余った布を機械本体ボディーの下端裏側に寄せ入れます。後身は裾の角で調整します。(図 5-3-1~4)



図 5-3-1



図 5-3-2



図 5-3-3



図 5-3-4

- 5-4 ・ボディーカバー全体が整ったら、5-2 項で仮結びをした蝶結びをほどいて、仮結びで調整した紐の引っ張り具合を維持して固結びをし、緩まないように 2 本まとめて止め結びをする。余った紐を束ねて結び、仕上がりに影響しないようボディーカバー内側に納めてください。(図 5-4-1~3)



図 5-4-1



図 5-4-2



図 5-4-3

- 5-5 ・5-4 項で出た肩周りのシワをプレスされないところで納まるよう整えてください。(図 5-5-1~2)
 ・5-3 項と同様にボディーカバー全体を確認し、整えてください。



図 5-5-1



図 5-5-2

5-6 ・1-1 項で、機械本体ボディーに引っ掛けておいた、カバー張りスプリングフックのリングに指を引っ掛け、手前に引いてフックを外し、そのままボディーカバーのステンレス棒に、布の上から引っ掛けてください。
 ※カバー張りスプリングフックを引っ掛ける場所は、前身上側左右と下側左右、計 4 箇所あります。
 (図 5-6-1)

- ・左側脇張り機構部の下側にカバーを被せます。カバーの奥まで脇張り機構部を入れてください。(図 5-6-2)
- ・被せたカバーの上側と下側にあるマジックテープをとめます。(図 5-6-3~4)



図 5-6-1



図 5-6-2



図 5-6-3



図 5-6-4

5-7 ・左側脇張り機構部のカバーの後ろ側に付いているファスナーと、後押えユニットの後下カバーに付いているファスナーを合わせて上から下に閉じます。(図 5-7-1)

- ・上から下に閉じたファスナーの取っ手を隠すようにしてカバー裾のマジックテープをとめ、後下カバーの裾端にある紐のループにボディーカバー裾端から出ている、先端にマジックテープの付いた紐を通します。
 (図 5-7-2)

・ボディーカバー裾の一番下、紐が通っている部分の全周を機械本体の紐掛け金具に掛け、先端にマジックテープが付いた左右の紐を引っ張ります。(図 5-7-3~4)

- ・左右の紐が緩まないように、ダクトの下でマジックテープどうしをとめてください。(図 5-7-5)

- ・機械本体にダクトホースをはめ込んでください。(図 5-7-6)



図 5-7-1



図 5-7-2



図 5-7-3



図 5-7-4



図 5-7-5



図 5-7-6

6. ネット押えカバーを装着する

6-1 ・機械本体ネット押えクランプアーム先端に、ネット押えカバーを装着します。

- 手順 1 ・ネット押えカバーの内側に、ネット押えオレンジシリコンの平らな面が合わさるようにはめ込む。
(図 6-1-1~2)
- 2 ・機械本体ネット押えクランプアーム先端にボディー側からネット押えカバーを被せる。(図 6-1-3)
- 3 ・ネット押えカバーの紐を引っ張り、固結びをする。(図 6-1-4)
- 4 ・固結びが緩まないように蝶結びをする。(図 6-1-5)
- 5 ・結んだ紐をカバーの内側に納める。(図 6-1-6)



図 6-1-1



図 6-1-2



図 6-1-3



図 6-1-4



図 6-1-5

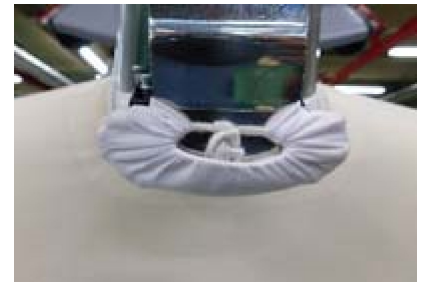


図 6-1-6

7. タックカバー(左側) カフス押えカバー(左側) を装着する

7-1 ・タックカバーに、タックHシリコンとタックネル 5mm を入れて、コテ受け板にタックカバーを装着します。
※タックカバーは左右で違いがあるので注意してください。(機械本体正面に向かって紐が奥側に位置します。)

- 手順 1 ・タックHシリコンの上に、タックネル 5mm を網目の面が合わさるように重ねる。(図 7-1-1)
2 ・タックカバーに、重ねたシリコンとネルをネルが上側になるように入れる。(図 7-1-2)
3 ・シリコンとタックカバー下面の間に、コテ受け板が入るようにタックカバーをコテ受け板に被せる。
(図 7-1-3~4)
4 ・タックカバーの紐を、コテ受け板の奥側で固結びをし、蝶結びをする。(図 7-1-5)



図 7-1-1



図 7-1-2



図 7-1-3



図 7-1-4



図 7-1-5

7-2 ・カフスクランプにカフス押えカバーを装着します。
※カフス押えカバーは左右で違いがあるので注意してください。(図 7-2-1~2)

- 手順 1 ・カフスクランプ上側に、タックカバー側からカフス押えカバーを被せ、固結びをし、蝶結びをする。
2 ・結んだ紐をカバーの内側に納める。(図 7-2-4) (図 7-2-3)
3 ・カフスクランプ下側も上側同様に装着する。(図 7-2-5)



図 7-2-1



図 7-2-2



図 7-2-3



図 7-2-4



図 7-2-5

8. 機械本体 ボディー前コテをスライドさせ、右側のカバー類を装着する

8-1 ・ボディー前コテを左側にスライドさせます。

- 手順
- 1 ・電源を入れる。(図 8-1-1)
 - 2 ・リセットボタンを押す。(図 8-1-2)
 - 3 ・パネルのテストボタンを押す。(図 8-1-3)
 - 4 ・ダイヤルを回して 009 番にする。(図 8-1-4)
 - 5 ・パネルの決定ボタンを押す。(図 8-1-5)
 - 6 ・機械本体 ボディー前コテが左側にスライドする。(図 8-1-6~7)
 - 7 ・電源を切る。(図 8-1-8)



図 8-1-1



図 8-1-2



図 8-1-3



図 8-1-4



図 8-1-5



図 8-1-6



図 8-1-7



図 8-1-8

8-2 ・7-1 項同様に右側のタックカバー、カフス押えカバーを装着します。

8-3 ・ボディー前コテを右側にスライドさせます。

- 手順
- 1 ・電源を入れる。(図 8-3-1)
 - 2 ・リセットボタンを押す。(図 8-3-2)
 - 3 ・機械本体 ボディー前コテが右側にスライドする。(図 8-3-3~4)
 - 4 ・電源を切る。(図 8-3-5)



図 8-3-1



図 8-3-2



図 8-3-3



図 8-3-4



図 8-3-5